



令和3年度学校だより

12月8日

五福校 ごふくこう

No107

文責 本田

計画委員のみんな 人権集会を企画してくれてありがとう 学校や地域にたくさんありがとうの花が咲きますように


先日、計画委員会の子どもたちが人権集会を実施しました。人権は自分が生まれた時からもっている「自分らしく幸せに生きる権利」のことで、子どもの権利条約では、生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利が定められています。五福小学校では12月を人権月間として、自分や友達を大切に、みんなと仲良く助け合うことを意識するようにしています。集会では、計画委員の子どもたちが、くすのきしげのり作の「ええところ」という本を群読しました。豊かな自己肯定感を育てるとてもいい絵本です。主人公のあいちゃんの心にたくさんの花を咲かせる物語です。その後、スマイルチャレンジプロジェクト第5弾の「ありがとうメッセージ」の取り組みとともに、計画委員の子どもたちがそれぞれの学年の子どもたちや先生、地域の方に向けて「ありがとう」のメッセージを送りました。素晴らしかったのは計画委員の子どもたちが直前まで伝えたいことを一生懸命工夫したりしていたこと、発表後、計画委員の子ども達がスタジオからそれぞれのラスに戻った時、クラスの子どもたち発表した子どもたちを温かい拍手で迎えたことです。見ているこちらが感動しました。安心して自己表現ができることが今の五福小学校の素晴らしいところだと思います。

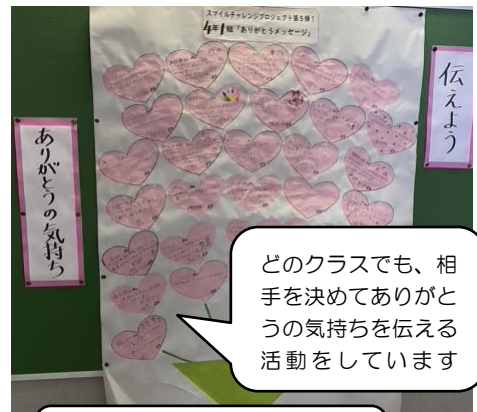
自分のいいところは自分では意外とわからないものです。大切な友達のいいところを探してちゃんと言葉にして伝えることが子どもも大人も大切です。

2年生 公民館図書室を調べました。

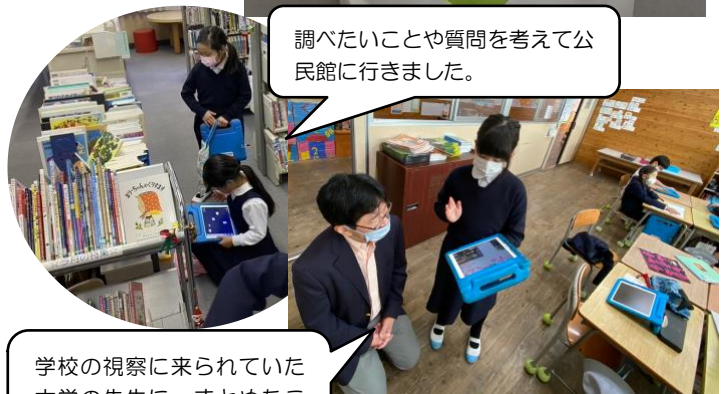
五福小学校の特徴は、公民館と繋がっているところです。今日はその良さを生かして、2年生が学校の図書館と公民館図書室の違いについて、公民館に行って直接お話を聞いたり調べたりしました。その後、自分たちでまとめていましたが、ちょうど放送大学の中川先生に視察に来ていただいたので、何人かの子どもたちのまとめを聞いていただきました。こんな時もさっとお話できる力がついてきています。



計画委員から各学年にありがとうのメッセージ 



どのクラスでも、相手を決めてありがとうの気持ちを伝える活動をしています



調べたいことや質問を考えて公民館に行きました。

学校の視察に来られていた大学の先生に、まとめたことをその場でプレゼン。